

令和4年シラス曳網調査結果 NO.7

令和4年8月17日

福島県水産海洋研究センター

【鵜ノ尾埼海域】

1 調査方法

- ・8月12日にお知らせした調査船拓水による8月10日の相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のカタクチイワシシラス調査の概要の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-30N線上の、141-00E(水深13m)、141-05E(水深28m)、141-10E(水深39m)、141-15E(水深54m)の4点です。
- ・表面水温は23.8℃～25.8℃でした(図1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は16～432尾でした(図1)。
- 7月のシラス採捕数は102～936尾であり、7月と8月の4点合計の採捕数を比較すると先月よりも1,424尾減少しました。
- ・全長は5.3～38.9mmであり、10mm前後と30mm前後の2つの群で構成されました。141-00E、141-15Eの2地点では10mm以下の個体がそれぞれ50%、85%を占めていました。141-05E、141-10Eの2地点では28mm以上の個体がそれぞれ88%、98%を占めていました。

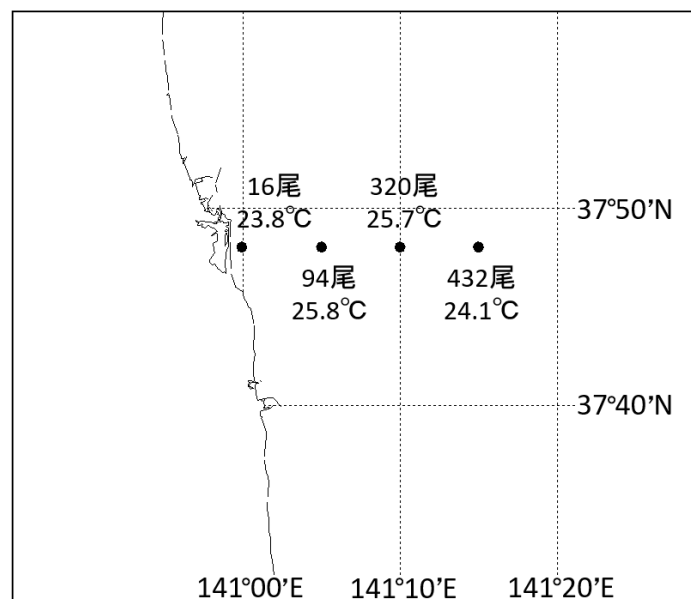


図1 カタクチイワシシラス採捕数

カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の8月における調査結果と比較した結果は図2のとおりです。

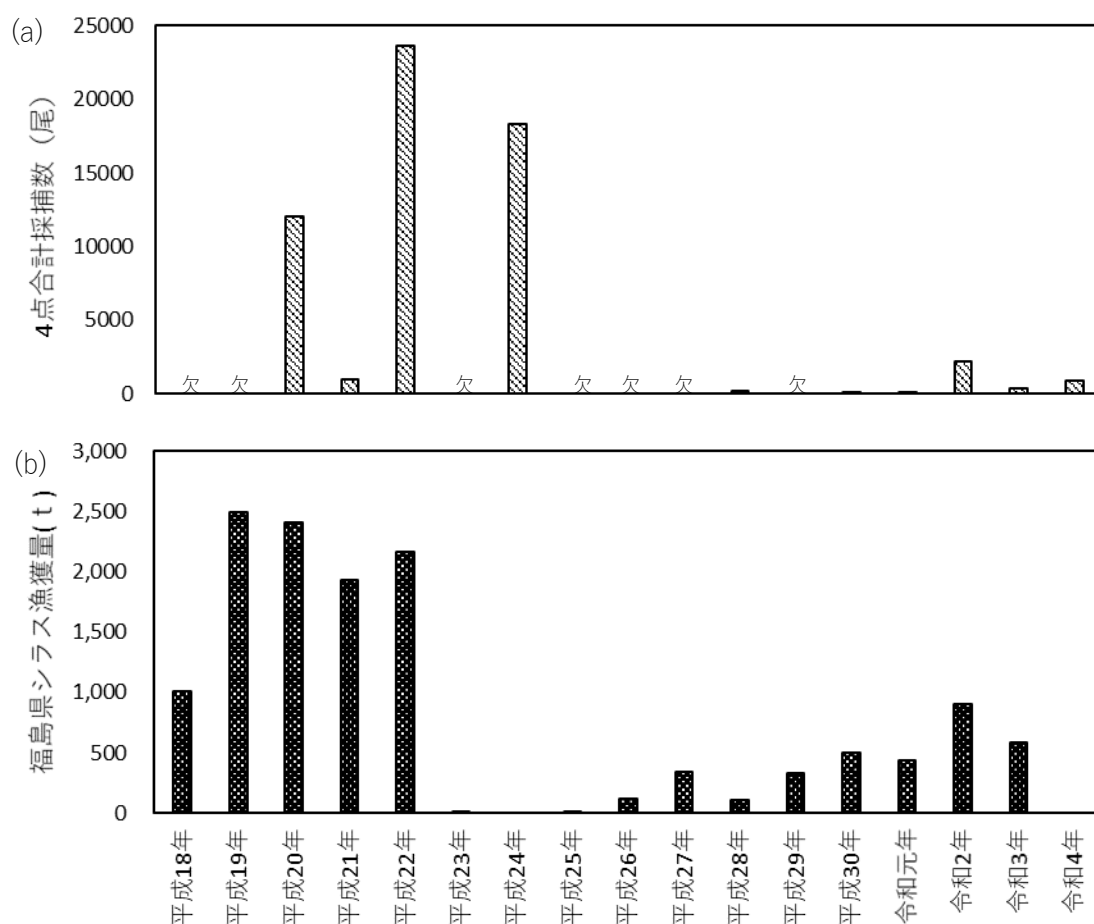


図2 (a)鶴ノ尾埼定線における8月の合計採捕数、(b)福島県のシラス漁獲量

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>